

科目名		担当者氏名	授業形式	単位	開講時期
幼児教育指導法特論Ⅱ		松本 實	講義	2	後期
必修・選択	修了要件	選択			
	資格要件				
学習目標	前期「幼児教育指導法特論Ⅰ」の講義を踏まえより実践的に以下の目標について学習する。生きる力とは何か？ 成長するということはどういうことか？ 子どもの主体性とは何か？そして、保育とは何か、一人一人を大切にする保育の意味とは何か？ 「環境を通しておこなうことが保育の方法原理」であることを命題とした〈新保育指針〉の精神に基づいて子どもたちの生きる意欲に満ちた自発的な成長への力を育むために保育者としての指導のあり方、子どもについての理解を深める。実際の保育所の実践活動を通して保育者の思考や指導・援助の方法や展開についてさらに学習を深める。				
授 業 計 画					
回	項 目	授 業 内 容			
1	幼児教育・福祉の現状の理解	スライドを使用して実際の保育所での指導の展開について理解を深める。			
2	幼児理解について	子どものからだと心の異変と基本的な生活習慣の関連について			
3	デイリープログラムについて	デイリープログラムの意義と作成について 及び コーナー保育について			
4	大型実用造形活動について	「木工活動：電車づくり」を通じた大型実用造形活動の意義を理解する			
5	指導計画の実際 (1)	キャンプ活動の意義と指導計画を演習する			
6	指導計画の実際 (2)	運動会活動の意義と指導計画を演習する			
7	指導計画の実際 (3)	表現発表会活動の意義と指導計画を演習する			
8	指導計画の実際 (4)	作品展・造型まつりの意義と指導計画を演習する			
9	指導計画の実際 (5)	入園式・卒園式の意義と指導計画を演習する			
10	指導計画の実際 (6)	「児童福祉法の規定：保護者に対する保育の指導」の意義と指導計画を演習する			
11	指導計画の実際 (7)	地域子育て支援活動の意義と指導計画を演習する			
12	個別援助を要する (1)	個別援助を要する子どもへの援助事例			
13	個別援助を要する (2)	個別援助を要する子どもへの援助事例			
14	難しい保護者への対応事例	難しい保護者への対応事例			
15	職員の研修について	OJT OFF - JT SDS などの研修の実際について学習する			
参 考 書	特になし。				
学習上の注意 (自己学習、学外学習など)	積極的な取り組みを望みます。				
評価の方法と時期	レポート・出席状況・授業への取り組みの総合評価。				